

米軍再編に係る千歳基地での訓練移転について

平成21年4月20日（月）から23日（木）にかけて航空自衛隊千歳基地で実施した標記の訓練状況について、次のとおり報告します。

1. 米側要員の移動状況

(1) 最大要員数：32名（パイロット10名、要員22名）

4月19日（日） 要員 20名 到着
C-9 輸送機1機 到着、当日帰還

20日（月） FA-18 5機（パイロット10名）到着

21日（火） 要員 2名 到着
C-12 輸送機1機到着、当日帰還

23日（木） FA-18 5機（パイロット10名）帰還

24日（金） 要員 22名 帰還
C-130 輸送機1機 到着、当日帰還

2. 北海道防衛局が設置した現地連絡本部関係

(1) 設置日時：4月19日（日）14時00分、閉所日時：24日（金）

(2) 現地連絡本部人員総数：約30名

3. 訓練期間中の飛行関係

(1) 共同訓練の実施状況

20日：0回、21日：0回、22日：1回、23日：0回

訓練回数：1回

月 日	実 施 状 況
4月20日(月)	・ 12:50~13:20、岩国基地より、FA-18 戦闘機5機が千歳基地に到着 ・ 訓練なし
4月21日(火)	【午前】天候不良により中止 【午後】天候不良により中止
4月22日(水)	【午前】天候不良により中止 【午後】FA-18×4機、F-15×4機 14:50…離陸、16:00…着陸 (米軍×4機、空自×4機)
4月23日(木)	・ 10:20、FA-18 戦闘機5機が帰還

4. 訓練期間中における事件・事故の報告

事件・事故の報告なし

5. 米側の千歳基地滞在中の外出状況

ほぼ毎日外出

6. 訓練期間中の市への問い合わせ件数(空港・基地課、危機管理課)

市民等からの問い合わせ等の件数：0件

7. 訓練期間中の苦情件数

0件

8. 期間中の騒音の速報値の概略

図表のとおり

別紙

平成21年4月20日から23日迄の訓練期間中における騒音の速報値について(千歳市測定分)

このdB値は、千歳市が訓練期間中の米軍機FA-18及び共同訓練に参加した自衛隊機F-15の離・着陸時の市内各測定局における騒音レベル速報値の最高値を記載しています。

一般的な航空機の騒音値は、風向き、気象条件、飛行方法などで異なるため、この数値をもって直ちに騒音実態として評価することは難しいものがあります。

単位: dB

種別	No.	日付(回数)	20日	21日	22日(午後1回)				23日
		離着陸方向 *	南方向	-	北方向	南方向	北方向	南方向	北方向
		機種	米軍FA18×5	-	米軍FA18×4		自衛隊F15×4		米軍FA18×5
		離陸・着陸	着陸	-	離陸	着陸	離陸	着陸	離陸
常設局 *2	1 青葉丘局	92	訓練中止	101	92	102	79	100	
	2 住吉局	106		100	116	100	88	102	
	3 東雲局	73		89	76	86	-	90	
	4 寿局	-		85	-	88	-	83	
	5 北斗局	-		83	-	80	-	86	
	6 里美局	-		-	-	-	-	-	
	7 根志越南局	76		91	85	92	-	91	
	8 駒里東局	-		-	-	73	-	-	
臨時局 *2	1 桜木臨時局	-		74	-	83	-	78	
	2 長都駅前臨時局	-		81	-	90	-	84	
	3 桂木臨時局	-		80	-	73	-	75	
	4 文京臨時局	-		-	-	-	-	-	

注) 上記表中の「-」は、65dB以上の音が5秒以上継続したデータが無かったことを示します。

(特記)

*1「離着陸方向」の「南方向」とは、戦闘機の機首が苫小牧市側に向くこと、「北方向」とは、戦闘機の機首が千歳市街地側に向く状態を示す。

*2 自衛隊機及び米軍機の離・着陸に際して、それぞれ2~3機ずつ2回に分けて飛行していたので、各回の離・着陸時の中で最高値を記載した。